

岩手県立盛岡となん支援学校

1 研究の概要

研究テーマ

「確かな学び、豊かな学びをはぐくむ授業づくり
～3つの柱に基づいた授業実践を通して～」

(1) 主題設定の理由

学習指導要領の改訂に伴い示された3つの柱を重視した実践に取り組むことによって、確かな学力を育み、知・徳・体のバランスのとれた力を育成することができる。このことは、本校の教育がめざす4つの児童生徒像にせまると共に、質の高い学びを実現することにつながるであろうと考え本テーマを設定した。

(2) 研究の目的

ア 学習指導要領の改訂のポイントを意識した「確かな学び、豊かな学びをはぐくむ授業づくり」を通して本校がめざす児童生徒像にせまると共に、3年次計画共通の目的

イ 習得した知識・技能をさらに確かなものとするために積極的に活用し、それを思考・判断・表現する力を育成する。(2年次の重点)

ウ 研究の成果は、校内ネットワークを通じて共有すると共に、外部団体の研究会において発表する。(成果の発信)

(3) 研究内容および方法

ア 全体研究会

3年次研究の全体構想や今年次研究の構想について共通理解を図る。また教職員個々の研究実践の共有や全体研究の評価を行う。

イ 一人一授業の実践

「思考力・判断力・表現力」を育むための授業について指導案を作成し、それを基に授業実施(グループ1名以上の参観)「確かな学び、豊かな学びをはぐくむ授業」振り返りシートを活用した振り返りを行い、その後の授業に活かす。

ウ グループ研究会

3つの教育課程とICTのグループに分かれて代表者1名の授業構想・指導案検討会・研究授業・研究会を進め校内での授業力向上を目指す。

エ 学習内容の整理

学習指導要領及び解説は、重複障害者等に関

する教育課程の取り扱いを適用する際の基本的な考え方を示している。本校児童生徒においても、各教科等の目標・内容を取り扱わなかったり、全学年の目標・内容に替えたりする場合は予想される。そこで、教科等の連続性の視点を大切にしたい指導を行うために、基本的な内容の整理を行う。

2 寄宿舍における研究の概要

研究テーマ

「一人一人の自立と生活力の獲得をめざして
～対話を大切にしたい生徒主体の個別の生活指導計画をとおして～」

(1) 研究の目的

ア 学担舎担会議や各アセスメントを通して課題と指導・支援方法を共有し、一人一人に応じた自立に向け生活力の獲得をめざす。

イ 生徒との話し合いや振り返りを定期的に行う中で、主体的に目標に取り組む意識を育む。

(2) 研究の内容及び方法

ア 学担舎担会議によって生徒の課題などの共通理解を図り、個別の生活指導計画に反映する。

イ 生徒との話し合いを大切に組み、その中からでてきた目標や寄宿舍生活で取り組んでみたいことについては、個別の生活指導計画に反映する。(なりたい自分シートを活用)

※生徒本人が自分の意思を表すことが難しい場合には、保護者との面談を利用する。

ウ 生徒との話し合いから見えてくる実態を棟職員、寄宿舍職員で共有し、支援方法を立てる上での意見交換や生徒の変容を確認し合う。

エ 取り組み過程を含めた生徒の変容をレポートにまとめる。

3 講演会

演 題：「子どもの身体との対話 発達を支援する介助方法」

講 師：理学療法士 花井 丈夫 氏

日 程：令和元年7月29日(月)

参加者：132名